

産業研究会企画講演会のご案内

コーポレート・ガバナンスと企業パフォーマンス ～社外取締役としての証券アナリストの可能性～

講師

ニコラス・E・ベネシュ 氏

公益社団法人 会社役員育成機構 代表理事

日時

2019年12月11日（水）
16:00～17:30（受付開始15:30）

会場

日経茅場町カンファレンスルーム
東京都中央区日本橋茅場町2-6-1
日経茅場町別館 地下1階

地図

講演内容

公益社団法人会社役員育成機構 代表理事のニコラス・E・ベネシュ氏を迎え、以下のポイントについてお話しします。

『ガバナンス改革は「形式から実質へ」と新たな段階に入ったと言われているが、ガバナンス改革の真の評価に不可欠なのが企業パフォーマンスとの相関関係の分析である。直近のガバナンス・プラクティス動向と投資家による議決権行使動向の分析からガバナンス・プラクティスと企業パフォーマンス、さらには株主総利回りの関係について考える。』

講師略歴

米国スタンフォード大学政治学学士号取得後、米国カリフォルニア大学(UCLA)で法律博士号・経営学修士号を取得。JP.モルガンにて11年間勤務後、M&Aアドバイザー業務に特化する株JTPを創設。米国カリフォルニア州及びニューヨーク州における弁護士資格取得。内閣府対日直接投資会議専門部会の外国人特別委員、在日米商工会議所理事、同対日直接投資タスクフォース座長、同成長戦略タスクフォース委員長、(株)アルプスの取締役、スキャンダル後の(株)LDH(旧名ライブドア)、(株)セシールの社外取締役を歴任。2010年、金融庁主宰コーポレートガバナンス連絡会議に所属。13年、金融庁主導の「コーポレート・ガバナンス・コード」制定を提案し、担当議員及び金融庁にコード内容に関し詳細にわたる助言を提供。現在、イマジカ・ロボット ホールディングス社、アドバンテスト社の独立社外取締役を務める。16年、厚生労働省に企業年金法の施行規則・通達の改定提案を提出した結果、企業年金によるスチュワードシップ・コードの受け入れの表明を促すために「スチュワードシップ検討会」が設置され、翌年の同検討会の報告書に繋がった。

参加料（消費税込み）

当日会場にてお支払い下さい。

- ① **1,000円** CMA、CIIA、一般会員、個人賛助会員、法人会員・法人賛助会員の役職員、CCMA、CMA受講生、大学生
- ② **無料** ①のうち首都圏（※）以外に居住される方（勤務先が首都圏の方を除く）
- ③ **2,100円** 日本証券アナリスト協会認定PB資格取得者（上記1.以外の方）
- ④ **1,000円** 同PB資格取得者で首都圏（※）以外に居住される方。ただし、勤務先が首都圏の方を除く。
- ⑤ **3,100円** 上記①～④以外の方
（※）東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

申込方法

[こちら](#) をクリックし、該当講演会の「受付中」をクリックして下さい。入力・送信の上、参加申し込み完了メールを「参加証」として印刷し、当日は会場受付に提出して下さい。マイページに登録している方（ID・パスワード取得者）は、マイページからお申込み下さい。

申込み期限

2019年12月4日（水）

申込QR



問合せ先

日本証券アナリスト協会
産業研究会企画講演会担当
TEL 03-3666-1632
Eメール k-kaisai@saa.or.jp